

南小だより

学校教育目標

心豊かにたくましく生きる児童の育成

かしこい子

やさしい子

たくましい子

今月の生活目標

『学校のきまりをまもろう』

平成25年4月8日

第1号

川越市立高階南小学校

新たな出会いに心弾ませて！

校庭の桜は、今か今かと子どもたちの登校を待ち構えていました。

本日新たに、66名の新入生を迎え、転入した仲間を含め全校児童437名で新学期を迎えることができました。新入生の保護者の皆様、また在校生の保護者の皆様には、入学・進級を心からお祝い申し上げます。

平成25年度当初の人事異動により、8名の教職員が転退職し、新たに6名が赴任いたしました。

今日から新しい学年、新しいクラスでの生活がスタートします。出会いを大切に、子どもたちと共に学んでまいります。教職員一同張り切っております。

本年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。



保護者の皆様へ

新学期を迎え、保護者の皆様に改めてお願いいたします。それは、できるかぎり子どもたちとコミュニケーションを図っていただきたいということです。具体的には、子どもたちの話にしっかりと耳を傾け、子どもたちに優しい言葉・励ましの言葉をかけてほしいということです。

子どもたちにとって、小学校に入学するということは、毎日が冒険の連続のようなものです。進級して新しいクラスで居場所を探すのに苦労する子どももいます。楽しくわくわくする出来事がいっぱいあふれています。ただ、時には、悲しいことやつらいこと、友達とけんかをして涙とともに帰ってくることもあります。

そのようなとき、子どもたちの語る言葉にじっと耳を傾けてほしいと思うのです。子どもたちにとって話を聞いてくれる保護者の皆様がいてくださるということが、どんなにか安心し心の安定につながるのか。話を聞いてもらえるだけで、悩み事、心配事が解決していくことさえあるのです。

優しい言葉・励ましの言葉は子どもたちの心の栄養です。子どもたちは心の中に貯金箱をもっています。そこには、大人からかけられた温かい言葉が貯金されます。この貯金の量が多いほど、子どもたちは自信を持ちやる気を出すことができます。素直で人との関わりを積極的にもつことができるようになります。温かい言葉に囲まれて育った子どもは、幸せです。

高学年ともなると、思春期の入り口で、口数の減る場合もあります。ただ、小学校の6年間は、長いようであつという間に過ぎ去ります。この時期に学んだこと、経験したことは、子どもたちにとって一生の宝となります。子どもたちは、私たちすべての大人にとって未来を託す「希望」そのものです。一人一人に丁寧に関わり、しっかりと向き合うことで、子どもたちそれぞれのもつ「よさ」を引き出していきたいと思います。

目指す学校像

児童一人一人の生きる力と夢を育む学校
～「ありがとう」の言葉があふれる南小～

*「南小だより」は高階南小学校ホームページでもご覧いただけます。